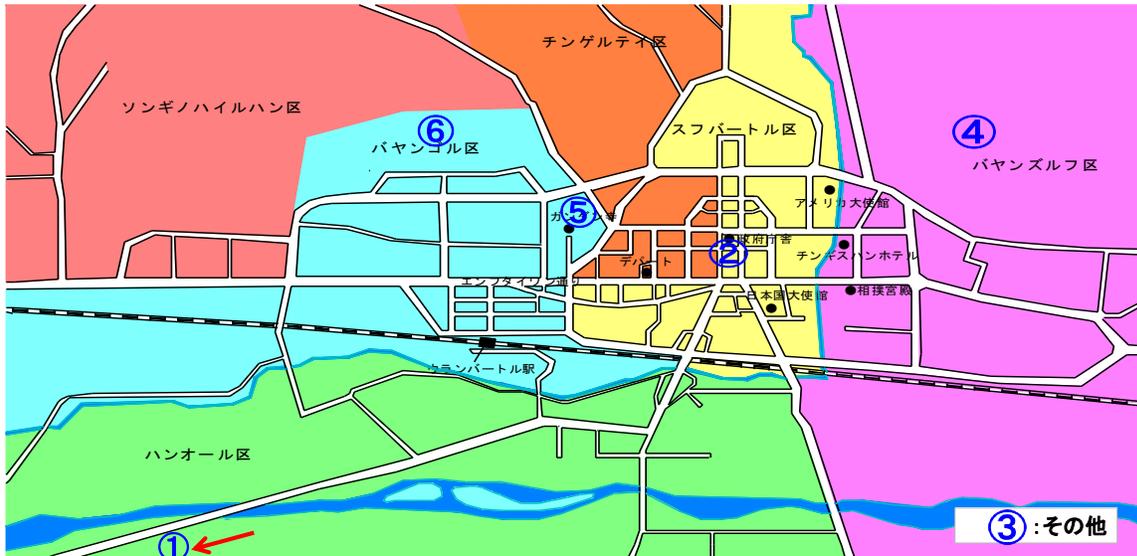


UBCITY 安全情報 (2020年1月号)

2019年12月中のウランバートル市内における邦人被害状況及び当地新聞に掲載された主な事件・事故・統計情報を地図上に表しています。



※邦人被害状況 (大使館調べ)

事件発生日時	事件発生場所	状況
	把握なし	

※当国新聞掲載事件・事故

掲載日 (任国新聞)	場所	被害者 (性別・年齢等)	犯人 (性別・年齢等)	
① 12月6日 金	ハンオール区 チンギスハーン国際空港内		中国人1名	偽造パスポートと在留カードの所持：4日、北京発ウランバートル着の航空機でモンゴルに入国した中国人(1名)のバッグ内から、大量の偽造パスポートと在留カードが発見された。現在、モンゴルの入国管理当局が使用目的等について捜査中である。
② 12月6日 金	スフバートル区 スフバートル広場付近路上		青少年5名 (11～15歳)	青少年による車両盗難：5日、交通警察官がスフバートル広場付近の路上で車を運転していた11～15歳の青少年に職務質問したところ、同人数の靴下から大量の車のエンジンキーを発見した。その後の捜査で、同人数はそのエンジンキーを使い、複数台の車を盗んでいたことが判明した。
③ 12月9日 月	モンゴル国各地 ※統計情報	子供56名		子供の交通事故死者数の増加：警察当局は、今年11月末時点の子供の交通事故死者数は56名であり、前年同期比で22名増加していると発表し、子供の安全を守るよう交通事故防止を呼びかけた。
④ 12月20日 金	バヤンズルフ区第5ホロー地内 マンホール内	モンゴル人 (詳細不明)	捜査中	殺人・死体遺棄の疑い：18日夕方、非常事態庁はマンホール内死体が発見されたという通報を受け、現場確認の結果、同所で死体を発見したため、警察当局に引き渡した。現在、警察では、殺人及び死体遺棄事件の可能性も視野に入れて捜査を進めている。
⑤ 12月25日 火	バヤンゴル区第16ホロー地内 マンホール内	60歳男性	捜査中	殺人・死体遺棄の疑い：バヤンゴル区第16ホローの教育施設付近のマンホール内から60歳男性の死体が発見され、非常事態庁が同死体を警察当局に引き渡した。現在、警察では、殺人及び死体遺棄事件の可能性も視野に入れて捜査を進めている。
⑥ 12月27日 火	バヤンゴル区第22ホロー路上	救急車の乗務員 (詳細不明)	モンゴル人 (20歳)	飲酒運転事故：25日、20歳の飲酒運転者がバヤンゴル区路上で救急車と衝突する交通事故が発生し、救急車は大破の上、修理不能となった。交通警察によると、本年12月20日時点で飲酒運転を907件認知し、その内、39件が交通事故を引き起こしたと発表した。

	殺人	屋外強盗	屋内強盗	屋外窃盗	侵入窃盗	暴行・傷害	強姦	薬物犯罪	誘拐/行方不明	交通事故	その他	合計
スフバートル区				1								1
ソングノハイラル区												0
チンゲルテイ区												0
ハンオール区											1	1
バヤンゴル区	1									1		2
バヤンズルフ区	1											1
その他(不明等)										1		1
合計	2	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	6

・マンホール内から死体が発見される事件が2件続けて発生しました。新聞記事だけでは、事件の背景など詳細は分かりませんが、何者かが被害者を殺害した上で、マンホール内に死体を隠すために遺棄した疑いがあるため、今後の捜査の進展が注目されます。

・また、ある国際統計データ専門サイトは、国連薬物犯罪事務所の統計情報を基に、2017年の**モンゴルの殺人発生率**(人口10万人当たりの殺人事件発生件数)は、**日本の約2.6倍**であったと公表しています。実際、2009年には在留邦人が強盗殺人の被害に遭っているのです。決して油断せず、適切な安全対策を講じなければなりません。具体的な安全対策については、当館HPで公表している**安全の手引き**(※)をご覧ください。

※ <https://www.mn.embjapan.go.jp/files/000523460.pdf>